



アドビ株式会社
141-0032 品川区大崎 1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー

アドビと NVIDIA が提携を拡大し、エージェント型コンテンツ制作の高速化を実現

- アドビは NVIDIA と提携を拡大し、Adobe Photoshop、Adobe Premiere、Adobe Substance 3D、Frame.io、Adobe Brand Concierge などの主力ツールにおいて、AI を活用したコンテンツ制作やパーソナライゼーションのさらなる高速化を実現します。
- NVIDIA RTX Spark スーパーチップの性能をアドビのクリエイティブアプリケーションである Adobe Photoshop、Adobe Premiere、Adobe Substance 3D に導入します。RTX Spark 向けに最適化されたこれらのアプリケーションは、AI 処理、編集、カラー、エフェクト処理を最大 2 倍高速化し、クリエイターの制作効率の向上とクリエイティブなワークフローの強化を支援します。
- Adobe Brand Concierge は、NVIDIA Nemotron のオープンモデル向けに最適化され、企業が高品質な対話型顧客体験を大規模かつ効率的に提供できるよう支援します。さらに NVIDIA は、NVIDIA.com 上で関連性と文脈に即した顧客コミュニケーションを実現するため、Adobe Brand Concierge を採用しています。

※当資料は、2026 年 10 月 15 日（米国時間）に米国本社から発表された[プレスリリース](#)の抄訳版です。

【2026 年 10 月 19 日】

アドビ（Nasdaq: ADBE）（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビ）と NVIDIA は本日、提携を拡大し、アドビの主力ツールである Adobe Photoshop、Adobe Premiere、Adobe Substance 3D、Frame.io、Adobe Brand Concierge などを最適化し、AI を活用した制作やパーソナライゼーションのさらなる高速化を実現することを発表しました。

本取り組みは、[アドビと NVIDIA が 2026 年 3 月に発表した戦略的提携](#)をさらに拡大するものです。両社は、アドビのクリエイティブおよびマーケティング向けワークフロー、モデル、テクノロジーと、NVIDIA のオープンモデル、ライブラリ、研究能力、アクセラレーテッドコンピューティングを融合させ、動画、画像、3D をはじめとする多様なクリエイティブコンテンツの制作、マーケティングにおけるワークフローを加速します。この提携には、Frame.io におけるメディアの取り込みとインテリジェンス機能のための GPU アクセラレーションに加え、Adobe Substance 3D、Adobe Firefly Foundry、および企業向けの 3D デジタルツインワークフローに関する継続的な取り組みも含まれています。

アドビのクリエイティブプロフェッショナル向けプロダクトマーケティング担当バイスプレジデントのディーパスブラマニアン（Deepa Subramaniam）は、次のように述べています。

「クリエイティブワークフローはかつてないほどマルチモーダル化しており、多くのプロジェクトが画像、動画、音声、モーション、3D にまたがっているため、クリエイターがアイデア作成や制作作業に集中し続けるためには、パフォーマンスが極めて重要となっています。NVIDIA と提携し、Adobe Photoshop、Adobe Premiere、Adobe Substance 3D を RTX Spark 向けに最適化し、クラウド上の Frame.io を高速化することで、クリエイターがアイデアを形にするために必要なパフォーマンスを提供します。」

NVIDIA のローカル AI 担当バイスプレジデントのジェイソン ポール（Jason Paul）氏は、次のように述べています。

「AI エージェントは、クリエイターが慣れ親しんだアドビのアプリケーションを活用し、より深く豊かなワークフローを実現できるよう支援しています。RTX Spark を搭載したアドビの最適化されたツールは、最大 2 倍高速化したパフォーマンスを実現し、新しいワークフローを加速させます。」

NVIDIA によって再設計された、より高速なアドビツールでクリエイターを支援

今日のクリエイティブプロフェッショナルは、画像、動画、モーション、3D といった分野を横断して作業を行っており、時には 1 つのプロジェクト内でこれらすべてを扱うこともあります。AI がクリエイティブプロセスに組み込まれるにつれ、自身のアイデアのスピードやワークフローの複雑さ

に追いつくことができるテクノロジーが必要となります。クリエイティブ業界を牽引してきたアドビのツールは、数十年にわたるクリエイティブの専門知識を活かして人間のもつ可能性を最大限に引き出し、アイデアを迅速かつ容易にインパクトのある作品へと形にできるよう支援します。

NVIDIA が今月上旬に発表した [NVIDIA RTX Spark](#) スーパーチップのパワーをアドビのクリエイティブアプリケーションである [Adobe Photoshop](#)、[Adobe Premiere](#)、[Adobe Substance 3D](#) に導入します。RTX による高速化が施され、RTX Spark の統合メモリと AI コンピュート能力を最大限に活用するように最適化されたこれらのアプリケーションは、AI 処理、編集、カラー、エフェクト処理を最大 2 倍高速化し、クリエイターがより迅速に試行錯誤を行い、クリエイティブなフローを維持できるよう支援します。

アドビは、GPU アクセラレーションによる合成処理を軸に Adobe Photoshop を再設計し、「削除ツール」による不要な要素の削除から、キャンバス上で「ガウスぼかし」や「ライトリーク」などのエフェクトを直接適用する作業まで、クリエイティブタスクの処理速度と応答性を向上させました。

Adobe Premiere における、再生、レンダリング、エフェクト、カラー、AI ツールなど、最も負荷の高いポストプロダクションワークフローの一部は、RTX による高速化が施され、RTX Spark 向けに最適化されています。これにより、「スピーチを強調」や「オブジェクトマスク」といった Premiere で人気のある機能の速度向上が実現しています。また、Adobe Substance 3D Painter では、RTX Spark によって、テクスチャリング作業の中でも特に負荷の高い工程が高速化されます。

Frame.io と NVIDIA によるクラウド動画ワークフローの高速化

また、アドビは NVIDIA のアクセラレーテッドコンピューティング技術を活用し、[Frame.io](#) におけるクラウドメディア処理とインテリジェントなコンテンツ検索を高速化します。これにより、制作チームは拡大し続けるメディアライブラリからコンテンツをより迅速に見つけ、活用できるようになります。更新された Frame.io のパイプラインでは、ハードウェアアクセラレーションによるデコードを行う NVIDIA NVDEC や、コンテンツの前処理および埋め込み生成に CUDA™ を搭載した NVIDIA TensorRT™ など、NVIDIA のビデオアクセラレーション技術が採用されています。

計算負荷の高いビデオデコード、前処理、埋め込みコード生成を NVIDIA GPU に移行することで、

Frame.io はメディアの処理を高速化し、検索するまでの時間を短縮すると同時に、大規模なコンテンツライブラリ全体にわたってより応答性の高い検索を実現します。

Frame.io のトランスコードおよび検索ワークロードの一部について得られた初期のパフォーマンス結果は、下記の通りです：

1. エンベディング生成速度が約 5 倍向上
2. P95 の処理レイテンシが 4 から 5 倍改善
3. 検索プロキシのサイズが約 80% 縮小

クリエイティブチームは、こうしたメリットにより、アップロードされたコンテンツをより早く検索でき、大規模なライブラリの更新をより効率的に行い、メディアの量が増えても、コンテンツの発見やレビューをスムーズに行えるようになります。

NVIDIA Nemotron 上で最適化された Adobe Brand Concierge による、パーソナライズされた会話型体験

また企業は、パーソナライズされた体験を支える AI モデルに対して、より多くの選択肢と価値を求めています。オープンモデルは、企業規模で高品質かつ応答性の高い会話を柔軟かつ効率的に実現する手段を提供します。

アドビと NVIDIA は提携し、[NVIDIA Nemotron™](#) のオープンモデルを活用して Adobe Brand Concierge を最適化しました。最適化された Adobe Brand Concierge は、年内にエンタープライズ顧客向けに提供される予定です。また、NVIDIA は、自社のデータやコンテンツに基づいたパーソナライズされた会話体験を実現するために、Adobe Brand Concierge を採用しました。これにより、NVIDIA は顧客のニーズに応じてウェブサイト上のやり取りを最適化すると同時に、Nemotron を活用して、大規模かつ迅速で高品質な応答を提供することが可能になります。

Adobe MAX に向けて創造性を引き出す

11 月 10 日から 12 日まで開催される [Adobe MAX](#) で、3 日間にわたるクリエイティブなスキルアップ、基調講演、交流の機会を通じて、次の時代への準備を整えましょう。アドビと NVIDIA は、ハードウェアパートナー各社とともに、クリエイター向けの最新技術を紹介します。

■「アドビ」について

アドビは創造性、生産性、そしてパーソナライズされた顧客体験を実現する革新的なプラットフォームとツールを提供し、-Empowering everyone to create- すべての人が創造力を発揮できるよう支援してまいります。

アドビに関する詳細な情報は、web サイト (<https://www.adobe.com/jp/about-adobe.html>) をご覧ください。

■「NVIDIA」について

[NVIDIA](#) (NASDAQ: NVDA) は AI とアクセラレーテッド コンピューティングの世界的なリーダーです。

NVIDIA Forward-Looking Statements

Certain statements in this press release including, but not limited to, statements as to: expectations with respect to growth, performance, availability, and benefits of NVIDIA's products, services and technologies, and related trends and drivers; expectations with respect to NVIDIA's third party arrangements, including with its collaborators and partners; expectations with respect to technology developments, and related trends and drivers; projected market growth and trends; expectations with respect to AI and related industries; and other statements that are not historical facts are forward-looking statements within the meaning of Section 27A of the Securities Act of 1933, as amended, and Section 21E of the Securities Exchange Act of 1934, as amended, which are subject to the "safe harbor" created by those sections based on management's beliefs and assumptions and on information currently available to management and are subject to risks and uncertainties that could cause results to be materially different than expectations. Important factors that could cause actual results to differ materially include: global economic and political conditions; NVIDIA's reliance on third parties to manufacture, assemble, package and test NVIDIA's products; the impact of technological development and competition; development of new products and technologies or enhancements to NVIDIA's existing products and technologies; market acceptance of NVIDIA's products or NVIDIA's partners' products; design, manufacturing or software defects; changes in consumer preferences or demands; changes in industry standards and interfaces; unexpected loss of performance of NVIDIA's products or technologies when integrated into systems; NVIDIA's ability to realize the potential benefits of business investments or acquisitions; and changes in applicable laws and regulations, as well as other factors detailed from time to time in the most recent reports NVIDIA files with the Securities and Exchange Commission, or SEC, including, but not limited to, its Annual Report on Form 10-K and Quarterly Reports on Form 10-Q. Copies of reports filed with the SEC are posted on NVIDIA's website and are available from NVIDIA without charge. These

forward-looking statements are not guarantees of future performance and speak only as of the date hereof, and, except as required by law, NVIDIA disclaims any obligation to update these forward-looking statements to reflect future events or circumstances.

© 2026 NVIDIA Corporation. All rights reserved. NVIDIA, the NVIDIA logo, and other NVIDIA product and service names are trademarks and/or registered trademarks of NVIDIA Corporation in the U.S. and other countries and regions. Other company, product, and service names may be trademarks of the respective companies with which they are associated.

© 2026 Adobe. All rights reserved. Adobe and the Adobe logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.